

インドネシアとの友好関係さらに発展へ

「YOKOSO NIPPON」レセプション



11月22日に日本国大使公邸で開かれた「YOKOSO NIPPON」レセプション。インドネシア各県の要人を招いた。和楽器の演奏やハラル対応の日本食、日本各地の産品の魅力発信など、日本文化を紹介した。

交流団を歓迎したジョコ大統領



交流のタベ

日インドネシア文化経済観光交流団(団長＝「階俊博・日本インドネシア国會議員連盟会長、ANTO会長」)の訪問に合わせ、インドネシア・ジャカルタで11月20～24日、夕食会「交流のタベ」のほか、訪日旅行を促進するさまざまなイベントも行われた。関連記事1面。その模様を写真で紹介する。

訪日旅行商談会



11月23日に開催された訪日旅行商談会。新たな訪日ツアーの造成を促進するため、北海道から九州、沖縄までの日本の地方自治体や旅行会社、宿泊施設、観光施設など55団体とインドネシアの現地旅行会社とが商談した。



二階会長とジョコ大統領



二階会長とギナンジャール・カルタサスミタ・インドネシア日本友好協会会長



伝統的な踊り(左)や女性アイドルグループ「JKT48」のパフォーマンスなどで交流団の参加者を楽しませた



インドネシア伝統楽器「アングロン」を参加者1300人が演奏(左)。インドネシア国内での最多人数の演奏という記録で認定された。その認定証を掲げる二階会長(下)



日本インドネシア観光交流拡大シンポジウム



「日本とインドネシアの観光交流の現状と今後の方向性」についてプレゼンテーションした田村明比古観光庁長官



来賓としてイ・グデ・ピタナ・インドネシア観光省副大臣もあいさつした



二階会長は「日本、インドネシア両国が将来に向けて友好関係をさらに発展させるために両国民の交流を拡大し、相互理解を深めることが重要だ」と



主催者あいさつで松山良一・日本政府観光局(JNTO)理事長は「日本には多くの魅力的な施設、地域、観光資源があることを多くのインドネシアの皆さまに知っていただきたい」と



尾崎正直高知知事は「日本フーバーンのものを四つ持っている」として、食物・清流・文化・歴史、よきこい祭りを紹介した



中村時広愛媛県知事は日本最古、3千年の歴史を持つ道後温泉などの魅力について話した



後藤嘉山梨県知事は「日本最高峰の富士山など高い山々に囲まれている」ことをアピール



田川博己・日本旅行業協会(JATA)会長は「青少年交流は両国の理解を深めるために最も重要な」と

日本政府観光局(JNTO)が23日、ジャカルタのシャングリー・ホテルで開催した「日本インドネシア観光交流拡大シンポジウム」。日本・インドネシア両国のビザ要件緩和や観光戦略強化を踏まえ、地域間交流などを通じた両国の観光交流拡大について議論した。